

【FdText：中学社会歴史：飛鳥時代・奈良時代・平安時代】

[[飛鳥時代／大化の改新・白村江の戦い・壬申の乱／律令国家の成立と平城京／班田収授法と税制・墾田永年私財法／天平文化・国家仏教・歴史書／平安京と東アジアの変化／撰関政治と文化の国風化／武士の登場・院政・平清盛／FdText 製品版のご案内／<http://www.fdtype.com/txt/> \]](#)

【】 飛鳥～大化改新

【】 飛鳥時代

[要点：聖徳太子の政治改革]

6世紀になると、地方で豪族が反乱を起し、中央でも蘇我氏が物部氏を滅ぼした。こうした争いを和らげるために、593年に女性の推古天皇が即位し、そのおおいの聖徳太子が摂政という地位についた(五組(593)いっしょに裁く聖徳太子)。聖徳太子は蘇我馬子と協力して大王(天皇)を中心とする政治制度を整えようとした。当時の政治の中心は飛鳥地方であった。



聖徳太子は603年に、役人の位をかんむりの色(紫色が最高位)で区別する冠位十二階という制度を定め、家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てようとした。604年には、「一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗とせよ」「二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり」「三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ」と役人の心構えを示した十七条の憲法を定めた。

589年に隋が中国を統一し、強大な帝国をつくりあげていたが、聖徳太子は、607年に、小野妹子を遣隋使として派遣した。隋と対等な外交関係を結ぶことで東アジアでの日本の立場を有利にすることと、進んだ制度や文化を取り入れることが遣隋使派遣の目的であった。

※出題頻度「聖徳太子◎」「推古天皇◎」「摂政◎」「蘇我馬子(蘇我氏)○」

「冠位十二階◎」「家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため○」

「十七条の憲法◎」「役人の心得○」「和○」「詔○」「三宝とは仏・法・僧なり○」

「遣隋使◎」「小野妹子◎」「隋○」

[問題]

次の文章中の①～⑫に適語を入れよ。

6世紀になると、地方で豪族が反乱を起し、中央でも蘇我氏が物部氏を滅ぼした。こうした争いを和らげるために、593年に女性の(①)天皇が即位し、そのおいの(②)が(③)という地位についた。(②)は蘇我(④)と協力して大王(天皇)を中心とする政治制度を整えようとした。当時の政治の中心は(⑤)地方であった。

(②)は603年に、役人の位をかんむりの色(紫色が最高位)で区別する(⑥)という制度を定め、家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を(⑦)に取り立てようとした。604年には、「一に曰く、(⑧)をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗とせよ」「二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは(⑨)・法・僧なり」「三に曰く、(⑩)をうけたまわりては必ずつつしめ」と(⑦)の心構えを示した(⑪)の憲法を定めた。

589年に隋が中国を統一し、強大な帝国をつくりあげていたが、(②)は、607年に、小野妹子を(⑫)使として派遣した。隋と対等な外交関係を結ぶことで東アジアでの日本の立場を有利にすることと、進んだ制度や文化を取り入れることが(⑫)使派遣の目的であった。

[解答欄]

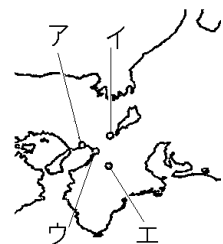
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫

[解答]① 推古 ② 聖徳太子 ③ 摂政 ④ 馬子 ⑤ 飛鳥 ⑥ 冠位十二階 ⑦ 役人
⑧ 和 ⑨ 仏 ⑩ 詔 ⑪ 十七条 ⑫ 遣隋

[問題]

次の各問いに答えよ。

- 日本に仏教が伝わった後、仏教を取り入れようとして物部氏と争って勝利し、大きな力をもったのは何氏か。
- 聖徳太子は、593年、天皇が女性や幼少であるときに置かれる役職について政治を行ったが、①この役職を何というか。②そのときの天皇は誰か。③聖徳太子に協力した豪族の名前を答えよ。
- (2)のころ、政治の中心であった場所を、右の地図中のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- 聖徳太子は、かんむりの色などで地位を区別する制度を定めた。この制度を何というか。
- (4)の制度の目的を「家柄」「才能や功績」という語句を使って簡潔に説明せよ。



- (6) 次は聖徳太子が定めた憲法の一部である。①～④に適語を入れよ。
 一に曰く、(①)をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。
 二に曰く、あつく(②)を敬え。(②)とは(③)・法・僧なり。
 三に曰く、(④)をうけたまわりては必ずつつしめ。
- (7) (6)は何という憲法か。
- (8) (6)は聖徳太子がだれに対して心構えを示したもののか。漢字 2 字で答えよ。
- (9) 589 年に中国を統一した王朝は何か。
- (10) 聖徳太子は 607 年に(9)へ使節を送った。①この使節を何というか。②①として派遣された人物は誰か。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	③
(3)	(4)		
(5)			
(6)①	②	③	④
(7)	(8)	(9)	(10)①
②			

[解答](1) 蘇我氏 (2)① 摂政 ② 推古天皇 ③ 蘇我馬子 (3) エ (4) 冠位十二階
 (5) 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てるため。 (6)① 和
 ② 三宝 ③ 仏 ④ 詔 (7) 十七条の憲法 (8) 役人 (9) 隋 (10)① 遣隋使
 ② 小野妹子

[要点：飛鳥文化]

聖徳太子は、仏教をさかんにすることで豪族間の対立をやわらげ、仏教を共通の信仰として国家の統一をはかろうとした。聖徳太子が建てた法隆寺は、一度焼失し、その後、再建されたが、現存する世界最古の木造建築である。飛鳥地方を中心に日本で最初の仏教文化が栄えたが、これを飛鳥文化といい、法隆寺の釈迦三尊像や法隆寺金堂の壁画がその代表とされている。これらは、おもに朝鮮半島からの渡来人の子孫によってつくられたため、南北朝時代の中国や、さらに遠くインドや西アジアなどの文化の影響を受けている。



聖徳太子の肖像画



法隆寺



法隆寺の釈迦三尊像



法隆寺の弥勒菩薩像



法隆寺金堂の壁画

※出題頻度「法隆寺◎」「飛鳥文化◎」「日本で最初の仏教文化○」

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

聖徳太子は、(①)をさかんにする^{こと}で豪族間の対立をやわらげ、(①)を共通の信仰として国家の統一をはかろうとした。聖徳太子が建てた(②)寺は、一度焼失し、その後、再建されたが、現存する世界最古の木造建築である。(③)地方を中心に日本で最初の仏教文化が栄えたが、これを(③)文化といい、(②)寺の(④)像や法隆寺金堂の壁画がその代表とされている。これらは、おもに朝鮮半島からの渡来人の子孫によってつくられたため、南北朝時代の中国や、さらに遠くインドや西アジアなどの文化の影響を受けている。

[解答欄]

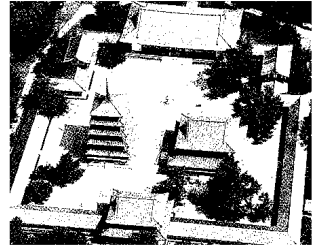
①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 仏教 ② 法隆 ③ 飛鳥 ④ 釈迦三尊

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右図の寺を何というか。
- (2) (1)の寺がつけられた時代の文化を何というか。
- (3) (2)の文化の特徴を「最初」という語句を使って簡潔に説明せよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 法隆寺 (2) 飛鳥文化 (3) 日本で最初の仏教文化である。

【】大化の改新・白村江の戦い・壬申の乱

[要点：大化の改新]

聖徳太子しょうとくたいしの死後，蘇我氏そがしは聖徳太子の一族をほろぼして大きな力をふるっていた。
 中大兄皇子なかのおえのおうじ(のちの天智天皇てんじてんのう)と中臣鎌足なかとみのかまたり(のちに藤原鎌足そがのえみし)は，645年に蘇我氏そがのえみし(蘇我蝦夷そがのいるか・蘇我入鹿の親子)をほろぼして実権をにぎり，改革を始めた。中大兄皇子は，大化たいかという年号を定め，翌年，全国の土地と人々を国家のものとし，天皇がそれを支配するという公地・公民こうち こうみんの方針を打ち出した。また，都は難波なにわ(大阪府)に移された(難波宮なにわのみや)。この一連の改革を大化の改新たいかのかいしんという。(大化の改新むし殺し(645))

※出題頻度「大化の改新◎」「中大兄皇子◎」「中臣鎌足◎」「蘇我氏○」「公地・公民◎」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

聖徳太子の死後，(①)氏は聖徳太子の一族をほろぼして大きな力をふるっていた。(②)(のちの天智天皇)と(③)(のちに藤原鎌足)は，645年に(①)氏をほろぼして実権をにぎり，改革を始めた。(②)は，(④)という年号を定め，翌年，全国の土地と人々を国家のものとし，天皇がそれを支配するという公地・(⑤)の方針を打ち出した。また，都は難波(大阪府)に移された(難波宮)。この一連の改革を(⑥)という。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 蘇我 ② 中大兄皇子 ③ 中臣鎌足 ④ 大化 ⑤ 公民 ⑥ 大化の改新

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 645年に政治の改革が起きた。この改革名を答えよ。
- (2) (1)の中心的人物で，後に天智天皇となった人物の名前を答えよ。
- (3) (2)の人物とともに(1)の中心になった人物の名前を答えよ。
- (4) (1)で倒された豪族は何氏か。
- (5) 全国の土地と人民を国のものとし，天皇が支配するという(1)の基本方針は何か。

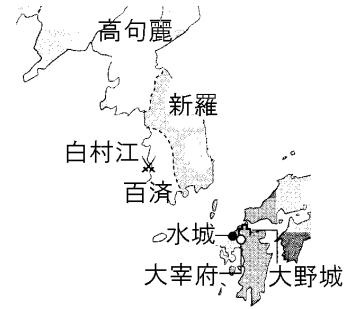
[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 大化の改新 (2) 中大兄皇子 (3) 中臣鎌足 (4) 蘇我氏 (5) 公地・公民

[要点：白村江の戦い]

隋は、7世紀の初めには、高句麗への攻撃の失敗などが原因で滅び、新たに唐が中国を統一した。7世紀後半、朝鮮半島では新羅が統一にのりだし、唐と連合して百済をほろぼした。百済ではそののちも豪族が兵を集めて唐や新羅の軍に抵抗し、日本に救援を求めてきた。中大兄皇子は、百済を助けるために大軍を送ったが、663年の白村江の戦いでやぶれ、以後、朝鮮半島から手を引いた。中大兄皇子は、唐や新羅の襲来に備え、大宰府を守るために水城と大野城を築き、また防人という兵士を配置した。中大兄皇子は都を大津宮に移し、即位して天智天皇となり、国内の改革に専念した。新羅はそののち、唐と連合して高句麗もほろぼし、さらに676年には唐の勢力を追い出して、朝鮮半島を統一した。



※出題頻度「白村江の戦い○」「百済○」「新羅○」「天智天皇○」

[問題]

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

隋は、7世紀の初めには、高句麗への攻撃の失敗などが原因で滅び、新たに(①)が中国を統一した。7世紀後半、朝鮮半島では(②)が統一にのりだし、(①)と連合して(③)をほろぼした。(③)ではそののちも豪族が兵を集めて(①)や(②)の軍に抵抗し、日本に救援を求めてきた。中大兄皇子は、(③)を助けるために大軍を送ったが、663年の(④)の戦いでやぶれ、以後、朝鮮半島から手を引いた。中大兄皇子は、(①)や(②)の襲来に備え、大宰府を守るために(⑤)城と大野城を築き、また(⑥)という兵士を配置した。中大兄皇子は都を大津宮に移し、即位して(⑦)天皇となり、国内の改革に専念した。(②)はそののち、(①)と連合して高句麗もほろぼし、さらに676年には(①)の勢力を追い出して、朝鮮半島を統一した。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 唐 ② 新羅 ③ 百済 ④ 白村江 ⑤ 水 ⑥ 防人 ⑦ 天智

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 7世紀後半に唐と連合して百済をほろぼした国はどこか。
- (2) わが国は、百済を助けるために大軍を送って(1)と唐の連合軍と戦ったが、この戦いを何というか。
- (3) 中大兄皇子は(2)に敗れた後、即位して何天皇になったか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 新羅 (2) 白村江の戦い (3) 天智天皇

[要点：壬申の乱]

大化の改新以来、30年近くも政治にあたっていた天智天皇^{てんじ}が死去した翌672年、天智天皇の子である大友皇子^{おおとものおうじ}に対して、天智天皇の弟である大海人皇子^{おおあまのおうじ}が兵をあげて天皇の位をめぐる戦いが起こった。これを壬申の乱^{じんしんらん}という。(無理な争い2人(672)でし) 大海人皇子は各地の兵力を結集して勝利をおさめ、大友皇子は自害^{じがい}して果てた。戦いに勝った大海人皇子は、即位して天武天皇^{てんむ}になった。壬申の乱によって、大友皇子側についた有力中央豪族^{ぼつらく}が没落したことで強大な権力を手にした天武天皇を中心に中央集権国家体制の形成が進んだ。天武天皇の死後は、皇后であった持統天皇^{じとう}が事業を引き継いだ。持統天皇は、道路によってごぼんの目のように区画された、日本ではじめての本格的な都である藤原京^{ふじわらきやう}をつくるなどして、律令制度を実施する準備を整えた。

※出題頻度「壬申の乱◎」「天武天皇◎」「持統天皇△」「藤原京△」

[問題]

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

大化の改新以来、30年近くも政治にあたっていた(①)天皇が死去した翌672年、(①)天皇の子である大友皇子に対して、(①)天皇の弟である大海人皇子が兵をあげて天皇の位をめぐる戦いが起こった。これを(②)の乱という。大海人皇子は各地の兵力を結集して勝利をおさめ、大友皇子は自害して果てた。戦いに勝った大海人皇子は、即位して(③)天皇になった。(②)の乱によって、大友皇子側についた有力中央豪族が没落したことで強大な権力を手にした(③)天皇を中心に中央集権国家体制の形成が進んだ。(③)天皇の死後は、皇后であった(④)天皇が事業を引き継いだ。(④)天皇は、道路によってごぼんの目のように区画された、日本ではじめての本格的な都である(⑤)京をつくるなどして、律令制度を実施する準備を整えた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤			

[解答]① 天智 ② 壬申 ③ 天武 ④ 持統 ⑤ 藤原

[問題]

天皇のあとつぎの地位をめぐって 672 年に起きた内乱について、次の各問いに答えよ。

- (1) この内乱を何というか。
- (2) (1)は何天皇のあとつぎをめぐる争いか。
- (3) (1)に敗れて自殺した皇子は誰か。
- (4) (1)に勝利して、即位した天皇は誰か。
- (5) (4)の天皇の死後、その皇后が天皇として即位した。何天皇か。
- (6) (5)の天皇は日本ではじめての本格的な都をつくった。何という都か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)		

[解答](1) 壬申の乱 (2) 天智天皇 (3) 大友皇子 (4) 天武天皇 (5) 持統天皇
(6) 藤原京

【】 奈良時代

【】 律令国家の成立と平城京

[要点：大宝律令]

天武天皇^{てんむ}、持統天皇^{じとう}の時代に、大化の改新以来の中央集権国家建設の事業は、ようやく完成に近づいた。701年には大宝律令^{たいほうりつりょう}が完成した。(大宝律令、慣^なれはじめ(701)) 大宝律令は唐の律令を手本としたものである。「律」は刑罰^{りつ けいぼつ}のきまりで、「令」は政治を行ううえでのさまざまな決まりである。律令に基づいて政治を行う国家を律令国家^{りりょうこく}という。近畿地方の有力豪族は貴族^{きぞく}とされて律令国家に組み込まれ、それまでの豪族の支配から天皇が中心になって全国を統一して支配する仕組みが整った。

※出題頻度「大宝律令◎」「律：刑罰のきまり，令：政治を行う上でのきまり○」

「律令国家△」「貴族○」

[問題]

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

天武天皇、持統天皇の時代に、大化の改新以来の中央集権国家建設の事業は、ようやく完成に近づいた。701年には(①)律令が完成した。(①)律令は唐の律令を手本としたものである。「(②)」は刑罰のきまりで、「(③)」は政治を行ううえでのさまざまな決まりである。律令に基づいて政治を行う国家を(④)という。近畿地方の有力豪族は(⑤)とされて(④)に組み込まれ、それまでの豪族の支配から天皇が中心になって全国を統一して支配する仕組みが整った。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤			

[解答]① 大宝 ② 律 ③ 令 ④ 律令国家 ⑤ 貴族

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 701年に制定された律令を何というか。
- (2) (1)は何という国にならって作られたものか。王朝名を答えよ。
- (3) 律令のうち、①刑罰のきまりを定めたものは律か令か。②政治を行ううえでのきまりを定めたものは律か令か。
- (4) 律令にもとづいて政治が行われる国家を何というか。
- (5) (4)を運営した、高い位をあたえられた人々の身分を何というか、漢字2字で書け。

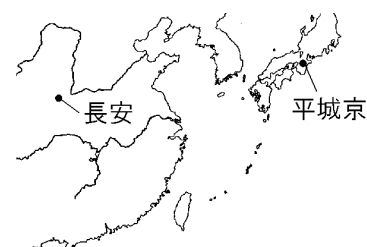
[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
(4)	(5)		

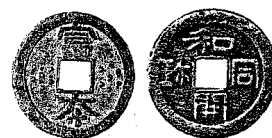
[解答](1) 大宝律令 (2) 唐 (3)① 律 ② 令 (4) 律令国家 (5) 貴族

[要点：平城京]

律令国家の新しい都として、710年に、現在の奈良県に平城京へいじょうきやうがつくられた。(南都(710)平城京) 以後、794年に平安京へいあんきやうに都を移すまでの約80年間を奈良時代ならじだいという。平城京は、唐の都長安ちやうあんを手本にしたもので、広い道路によってごぼんの目のように整然と区画され、中央を南北に走る朱雀大路すざくおおじによって左京と右京にわけられていた。



わが国最古の貨幣は富本銭ふほんせんである。また、武蔵国から銅が産出されたのを記念して、708年に和同開珎わどうかいほんが作られた。平城京には東西に市がおかれ、さまざまな品物が取り引きされたが、和同開珎はそのときに使用されたと考えられる。しかし、一般には稲や布などの物品による取引が行われていたために、平城京やその付近以外では流通しなかった。



富本銭 和同開珎

※出題頻度「平城京◎」「奈良時代△」「唐の長安○」「富本銭△」「和同開珎○」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

律令国家の新しい都として、710年に、現在の奈良県に(①)京がつくられた。以後、794年に平安京に都を移すまでの約80年間を(②)時代という。(①)京は、(③)の都(④)を手本にしたもので、広い道路によってごぼんの目のように整然と区画され、中央を南北に走る朱雀大路によって左京と右京にわけられていた。

わが国最古の貨幣は(⑤)である。また、武蔵国から銅が産出されたのを記念して、708年に(⑥)が作られた。(①)京には東西に市がおかれ、さまざまな品物が取り引きされたが、(⑥)はそのときに使用されたと考えられる。しかし、一般には稲や布などの物品による取引が行われていたために、(①)京やその付近以外では流通しなかった。

[解答欄]

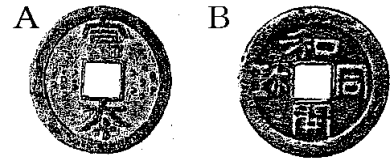
①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 平城 ② 奈良 ③ 唐 ④ 長安 ⑤ 富本銭 ⑥ 和同開珎

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 8世紀の初めに都が移されたが、この都は何と呼ばれたか。
- (2) (1)は、どこの国の何という都市を手本にしたものか。「～の…」という形で答えよ。
- (3) (1)は現在の何県にあったか。
- (4) (1)に都が移されたのは何年か。
- (5) (4)から794年までの間を何時代というか。
- (6) 日本最古の貨幣といわれる右図のAを何というか。
- (7) 708年につくられた右図Bの貨幣を何というか。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	

[解答](1) 平城京 (2) 唐の長安 (3) 奈良県 (4) 710年 (5) 奈良時代 (6) 富本銭
(7) 和同開珎

[要点：律令による役所のしくみ]

大宝律令たいほうりつりょうで定められた統治組織は、中央に、神々の祭りの儀式ぎしきをつかさどる神祇官じんぎかんと、一般政務をつかさどる太政官たいじょうかんの二官があり、太政官のもとには八つの省が置かれた。地方は66の国に分けられ、国ごとに国府こくふという役所が置かれ、中央の貴族が国司こくしとして派遣された。国はさらに郡に分けられ、地方の豪族から選ばれた郡司ぐんじに治めさせた。さらに、九州には、九州地方の政治のほかに外交や防衛ぼうえいに当たる大宰府だざいふが置かれた。現在の宮城県には、東北地方の政治や軍事を担当する多賀城たがじょうが設置された。

[律令による役所のしくみ]
中央：太政官, 神祇官
地方：国司- 郡司
太宰府, 多賀城

※出題頻度「太政官△」「神祇官△」「国司○」「大宰府○」「多賀城」

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

大宝律令で定められた統治組織は、中央に、神々の祭りの儀式をつかさどる(①)官と、一般政務をつかさどる(②)官の二官があり、(②)官のもとには八つの省が置かれた。地方は66の国に分けられ、国ごとに国府という役所が置かれ、中央の貴族が(③)として派遣された。国はさらに郡に分けられ、地方の豪族から選ばれた郡司に治めさせた。さらに、九州には、九州地方の政治のほかに外交や防衛に当たる(④)が置かれた。現在の宮城県には、東北地方の政治や軍事を担当する多賀城が設置された。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 神祇 ② 太政 ③ 国司 ④ 大宰府

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 中央には二官八省がおかれた。二官のうち、①一般の政治を行うもの、②祭りの儀式を行うものをそれぞれ何というか。
- (2) 国ごとに何をおいたか。
- (3) (2)にはどのような者が任命されたか。
- (4) (2)の下には何をおいたか。
- (5) 九州地方の政治のほかに外交や防衛に当たった役所は何か。
- (6) 東北地方の政治や軍事を担当した役所が現在の宮城県に設置された。その役所名を答えよ。

[解答欄]

(1)①	②	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)	

[解答](1)① 太政官 ② 神祇官 (2) 国司 (3) 中央の貴族 (4) 郡司 (5) 大宰府
(6) 多賀城

【】班田収授法と税制・墾田永年私財法

[要点：班田収授法と税制]

律令制度の下では、6年ごとに戸籍こせきがつくられ、人々は、良民りょうみんと賤民せんみんに分けて登録とうろくされた。戸籍に登録された6歳以上くぶんてんのすべての人々に口分田くぶんてんがあたえられ、死ぬと国に返させた。この制度を班田収授法はんてんしゅうじゆのほうという。

農民には、租・庸・調・雑徭そ しょう ちょう ぞうようなどの税負担が課せられた。租は口分田にかかる税で、収穫量の約3%を納める比較的軽いものであった。成年男子にかかる庸よう(労役のかわりに布(麻布)を納める)、調ちょう(絹, 糸, 真綿, 地方の特産物を納める)は、農民自身の手で都に運ばねばならず(農民の中から人夫が選ばれた)、行き帰りの食料などが自己負担ふたんであったため、限度をこえた重すぎる負担であった。また、雑徭ぞうようは成年男子に課せられ、国司の命令で年間最大で60日の労役ろうえきを提供するものであった。さらに、成年男子3~4人に1人の割合で兵士が徴発ちようはつされた。兵士は諸国におかれた軍団で訓練を受け、一部は都の警備を行い、一部は九州北部を守る防人ちようじんとなった。このほかに出卒すいそという稲を強制的に貸し付けることも行われた。このような重い負担をのがれるために、男を女といつわって、戸籍こせきに申告して庸・調・雑徭・兵役をまぬがれようとした(女子には庸・調・雑徭や兵役がなかった)。また、重い負担にたえかねて口分田くぶんてんをすてて流浪るろうする農民も少なくなかった。

※出題頻度「戸籍○」「班田収授法◎」「6歳以上の男女○」「口分田◎」「次の家族の場合、何人に口分田があたえられるか◎」「租◎」「庸◎」「調◎」「雑徭○」「防人◎」

「男を女と申告して男子のみに課せられる庸・調・雑徭・兵役をまぬがれようとしたため○」

[問題]

次の文章中の①~⑩に適語を入れよ(または適語を選べ)。

律令制度の下では、(①)年ごとに戸籍がつくられ、人々は、良民と賤民に分けて登録された。戸籍に登録された(②)歳以上のすべての人々に(③)田があたえられ、死ぬと国に返させた。この制度を(④)法という。農民には、租・庸・調・雑徭などの税負担が課せられた。(⑤)は(③)田にかかる税で、収穫量の約3%を納める比較的軽いものであった。成年男子にかかる(⑥)(労役のかわりに布(麻布)を納める)、(⑦)(絹, 糸, 真綿, 地方の特産物を納める)は、農民自身の手で都に運ばねばならず(農民の中から人夫が選ばれた)、行き帰りの食料などが自己負担であったため、限度をこえた重すぎる負担であった。また、(⑧)は成年男子に課せられ、国司の命令で年間最大で60日の労役を提供するものであった。さらに、成年男子3~4人に1人の割合で兵士が徴発された。兵士は諸国におかれた軍団で訓練を受け、一部は都の警備を行い、一部は九州北部を守る(⑨)となった。このほかに(⑩)という稲を強制的に貸し付けることも行われた。

このような重い負担をのがれるために、⑩(男を女/女を男)といつわって、戸籍に申告して庸・調・雑徭・兵役をまぬがれようとした(女子には庸・調・雑徭や兵役がなかった)。また、重い負担にたえかねて(③)田をすてて流浪する農民も少なくなかった。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	

[解答]① 6 ② 6 ③ 口分 ④ 班田收授 ⑤ 租 ⑥ 庸 ⑦ 調 ⑧ 雑徭 ⑨ 防人
⑩ 出挙 ⑪ 男を女

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 戸籍にもとづいて人々に土地を与え、死亡したら国に返させる制度を何というか。
- (2) (1)で人々にあたえられた田を何というか。
- (3) 次の家族の場合、何人に(2)の田があたえられるか。

[父 38 歳 母 35 歳 男子 15 歳 男子 9 歳 男子 1 歳 女子 7 歳 女子 4 歳]

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 班田收授法 (2) 口分田 (3) 5 人

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 次の表は、奈良時代の農民の負担である。①～⑤にあてはまる語句を書け。

税	(①)	収穫量の約 3%の稲を納めた。
	(②)	労役のかわりに布(麻布)を納めた。
	(③)	絹, 糸, 真綿, 地方の特産物を納めた。
労役	(④)	1 年に 60 日以内の労働。
兵役	兵士	成年男子 3~4 人に 1 人を, 国ごとの軍団で 1 年に平均 36 日間兵士として訓練。
	(⑤)	兵士から選ばれ, 3 年間九州北部の防衛を行う。

- (2) 右の表は奈良時代のある 2 つの郡の戸籍に登録された人口である。「女」の数が異常に多くなっているが、その理由を「庸, 調, 雑徭, 兵役」という語句を使って答えよ。

	A 郡	B 郡
男	15 人	32 人
女	46 人	72 人

[解答欄]

(1)①	②	③	④
⑤			
(2)			

[解答](1)① 租 ② 庸 ③ 調 ④ 雜徭 ⑤ 防人 (2) 庸, 調, 雜徭, 兵役などは男子のみに課せられていたから女といつわってこの負担を免れようとしたため。

[要点：墾田永年私財法]

奈良時代, 鉄製農具が広まり稲の収穫は増えてきた。しかし, それ以上に人口が増加したために口分田が不足するようになった。そこで, 743年, 聖武天皇は墾田永年私財法を出して, 新しく開墾した土地の私有を認めることとした(なよみ(悩み)(743)多き私財法)。ただし, 私有地であっても租は課税された。墾田永年私財法が出されると, 貴族や寺院や郡司は, 周りの農民を使って開墾を進め, 広い私有地をもつようになった。これが荘園の始まりである。墾田永年私財法によって, 耕地面積が拡大し税収が増加した。しかし, 土地の私有を認めた結果, 公地・公民の原則はくずれることになった。

※出題頻度「人口が増加したため口分田が不足したから○」「墾田永年私財法◎」

「公地・公民の原則がくずれた○」「荘園◎」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

奈良時代, 鉄製農具が広まり稲の収穫は増えてきた。しかし, それ以上に人口が(①)したために(②)田が不足するようになった。そこで, 743年, (③)天皇は(④)法を出して, 新しく開墾した土地の私有を認めることとした。ただし, 私有地であっても租は課税された。(④)法が出されると, 貴族や寺院や郡司は, 周りの農民を使って開墾を進め, 広い私有地をもつようになった。これが(⑤)の始まりである。(④)法によって, 耕地面積が拡大し税収が増加した。しかし, 土地の私有を認めた結果, (⑥)の原則はくずれることになった。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 増加 ② 口分 ③ 聖武 ④ 墾田永年私財 ⑤ 荘園 ⑥ 公地・公民

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 奈良時代になると口分田が不足してきたが、その原因は何か。1つ答えよ。
- (2) 土地をあらたに開墾した場合は、永久に私有を認めるという 743年に出された法令は何か。
- (3) (2)を制定した天皇はだれか。
- (4) (2)により豪族や寺院などが所有するようになった私有地を何というか。漢字2字で答えよ。
- (5) (2)により大きく崩れていくことになった原則は何か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	

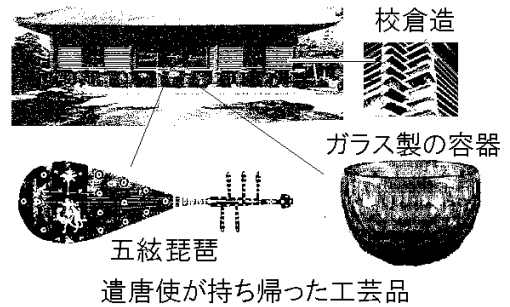
[解答](1) 人口が増加したこと。 (2) 墾田永年私財法 (3) 聖武天皇 (4) 荘園
(5) 公地・公民(の原則)

【】天平文化・国家仏教・歴史書

[要点：天平文化]

奈良時代には、仏教と唐の文化の影響を強く受けた国際的な文化が栄えた。この文化は聖武天皇の天平年間にもっとも栄えたので、天平文化と呼ばれている。遣唐使は630年から、894年に菅原道真のうったえによって停止されるまでの約260年間に10数回派遣され、唐の文化や制度を取り入れた。

東大寺の正倉院には、聖武天皇の身のまわりの品や工芸品が納められている。右のガラス製の容器や五絃琵琶などは西アジアやインドからシルクロードを通して唐に運ばれ、それを遣唐使が持ち帰ったものである。こうしたことから、正倉院は「シルクロードの終着点」ともいわれる。正倉院は三角形の木材を組んだ校倉造でつくられており、高床式の構造になっている。



※出題頻度「聖武天皇○」「天平文化○」「仏教と唐の文化の影響を強く受けた国際的な文化」「遣唐使△」「正倉院◎」「シルクロードの終着点△」「校倉造△」

[問題]

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

奈良時代には、仏教と(①)(国名)の文化の影響を強く受けた国際的な文化が栄えた。この文化は(②)天皇の(③)年間にもっとも栄えたので、(③)文化と呼ばれている。(④)使は630年から、894年に菅原道真のうったえによって停止されるまでの約260年間に10数回派遣され、(①)の文化や制度を取り入れた。

東大寺の(⑤)院には、(②)天皇の身のまわりの品や工芸品が納められている。ガラス製の容器や五絃琵琶などは西アジアやインドから(⑥)(道の名前)を通して(①)に運ばれ、それを(④)使が持ち帰ったものである。こうしたことから、(⑤)院は「(⑥)の終着点」ともいわれる。(⑤)院は三角形の木材を組んだ(⑦)造でつくられており、高床式の構造になっている。

[解答欄]

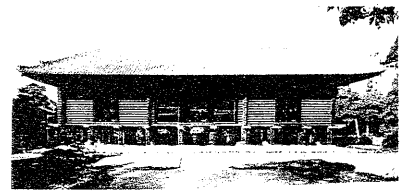
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 唐 ② 聖武 ③ 天平 ④ 遣唐 ⑤ 正倉 ⑥ シルクロード ⑦ 校倉

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 東大寺の中にある右の写真の倉庫は何か。
- (2) (1)の中にはある天皇の愛用品が多く残されている。
その天皇とはだれか。
- (3) (1)の建物は三角形の木材を組んでつくられている。
このような建築様式を何というか。
- (4) (1)は「()の終着点」ともよばれている。()に適語を入れよ。
- (5) 7世紀から9世紀末にかけて、中国に使者を送ったが、それを何というか。
- (6) (5)がたびたび派遣されたのは、何のためか。
- (7) (2)の天皇のころの文化を何というか。
- (8) (7)の文化の特色を「仏教」「唐」という語句を使って簡潔に説明せよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)		
(7)	(8)		

[解答](1) 正倉院 (2) 聖武天皇 (3) 校倉造 (4) シルクロード (5) 遣唐使
(6) 唐の制度や文化を取り入れるため。 (7) 天平文化 (8) 仏教と唐の文化の影響を強く受けた国際的な文化。

[要点：国家仏教]

奈良時代の8世紀の中ごろ、農民は重税じゅうぜいや伝染病でんせんびょうに苦しみ、皇族や貴族の間では争いが激しくなった。当時、仏教は国家を守り、政治を安定させる力を持つと考えられていた。聖武天皇は、仏教の力によって国家を守ろうとし、国ごとに国分寺と国分尼寺、都には東大寺を建て、右図の太仏をつくった。



唐の僧である右図の鑑真がんじんは仏教の戒律を日本へ伝えるため、日本に渡ろうとしていくども遭難し、盲目もうもくになりながらも日本への渡航とこうに成功し、のちに、唐招提寺とうしょうだいじを開いた。阿倍仲麻呂あべのなかまろは、留学生として唐にわたり、唐の政府に仕え、唐で一生を終えた人物である。



大仏建立に協力した行基ぎょうきは民衆に仏教を広め、民衆の協力を得て、橋やため池ようちよう、庸や調きゅうけいじよを運ぶ人のための休憩所を作ったりした。

※出題頻度「聖武天皇○」「仏教の力で国をまもる○」「東大寺大仏○」「国分寺・国分尼寺○」「鑑真○」「唐招提寺△」「阿倍仲麻呂△」「行基△」

[問題]

次の文章中の①～⑨に適語を入れよ。

奈良時代の8世紀の中ごろ、農民は重税や伝染病に苦しみ、皇族や貴族の間では争いが激しくなった。当時、(①)は国家を守り、政治を安定させる力を持つと考えられていた。(②)天皇は、(①)の力によって国家を守ろうとし、国ごとに(③)寺と国分尼寺、都には(④)寺を建て、右図の(⑤)をつくった。



唐の僧である(⑥)は仏教の戒律を日本へ伝えるため、日本に渡ろうとしていくども遭難し、盲目になりながらも日本への渡航に成功し、のちに、(⑦)寺を開いた。(⑧)は、留学生として唐にわたり、唐の政府に仕え、唐で一生を終えた人物である。大仏建立に協力した(⑨)は民衆に仏教を広め、民衆の協力を得て、橋やため池、庸や調を運ぶ人のための休憩所を作ったりした。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨			

[解答]① 仏教 ② 聖武 ③ 国分 ④ 東大 ⑤大仏 ⑥ 鑑真 ⑦ 唐招提 ⑧ 阿倍仲麻呂 ⑨ 行基

[問題]

次の各問いに答えよ。

- 右の写真は奈良時代の仏像である。何というか。漢字2字で答えよ。
- (1)は何という寺に作られたか。
- (1)や(2)を建立した天皇は誰か。
- (3)の天皇が国ごとに建てさせたのは何という寺か。2つ答えよ。
- (3)の天皇が(1)や(2)や(4)をつくった目的を簡潔に書け。
- 失敗を重ね、盲目になりながらも、ようやく来日し、日本に仏教の戒律を伝えた①人物(右の写真)は誰か。②また、その人物が建てた寺は何か。
- 民衆の間に仏教を広め、各地に橋やため池などを作り、(1)建立にも協力した僧はだれか。
- 遣唐使として中国にわたり、遭難して帰れず、唐で一生を終えた人物は誰か。



【解答欄】

(1)	(2)	(3)	
(4)	(5)		
(6)①	②	(7)	(8)

【解答】(1) 大仏 (2) 東大寺 (3) 聖武天皇 (4) 国分寺, 国分尼寺 (5) 仏教の力で国を守る
こと。 (6)① 鑑真 ② 唐招提寺 (7) 行基 (8) 阿倍仲麻呂

【要点：歴史書と万葉集】

天皇中心の中央集権国家ができあがったのは、672年の壬申の乱に勝利をおさめた天武天皇の時代であった。国家のしくみが整ってくると、日本の国のおこりや、天皇が国を治めるいわれを確認するために歴史書の編さんがおこなわれた。天武天皇の時代に始められた歴史書の編さん事業は奈良時代に完成し、日本書紀と古事記がつくられた。国ごとには、地理や産物、言い伝えなどをまとめた風土記がつくられた。

また、天皇・貴族や農民などの和歌4500首ほどを集めた万葉集がつくられた。「から衣すそに取りつき泣く子らを置きてぞ来ぬや母なしにして」という防人の歌も万葉集に収められている。万葉集では、漢字の音で日本語を表す万葉仮名が使われている。

※出題頻度「日本書紀◎」「古事記○」「風土記○」「万葉集◎」「万葉仮名△」

【問題】

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

天皇中心の中央集権国家ができあがったのは、672年の壬申の乱に勝利をおさめた天武天皇の時代であった。国家のしくみが整ってくると、日本の国のおこりや、天皇が国を治めるいわれを確認するために歴史書の編さんがおこなわれた。天武天皇の時代に始められた歴史書の編さん事業は奈良時代に完成し、(①)書紀と(②)記がつくられた。国ごとには、地理や産物、言い伝えなどをまとめた(③)記がつくられた。

また、天皇・貴族や農民などの和歌4500首ほどを集めた(④)集がつくられた。「から衣すそに取りつき泣く子らを置きてぞ来ぬや母なしにして」という(⑤)の歌も(④)集に収められている。(④)集では、漢字の音で日本語を表す(⑥)が使われている。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥		

【解答】① 日本 ② 古事 ③ 風土 ④ 万葉 ⑤ 防人 ⑥ 万葉仮名

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 「から衣すそに取りつき泣く子らを置きてぞ来ぬや母なしにして」という防人の歌などが収められている和歌集は何か。
- (2) (1)で使われている仮名を何というか。
- (3) 奈良時代に作られた歴史書は何か。2つ答えよ。
- (4) 奈良時代になって歴史書が編さんされたが、何のために行われたのか述べよ。
- (5) 国ごとに作られ、その地方の産物や伝説などをするした書物は何か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		
(5)		

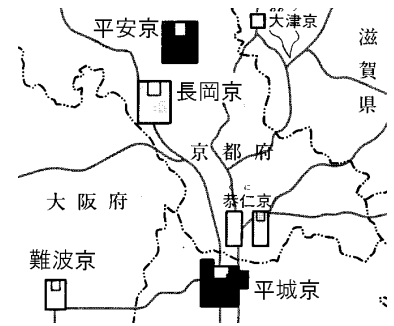
[解答](1) 万葉集 (2) 万葉仮名 (3) 日本書紀, 古事記 (4) 日本の国家のおこりや, 天皇が国を治めるいわれを確かめるため。 (5) 風土記

【】 平安時代

【】 平安京と東アジアの変化

[要点：平安京・桓武天皇]

奈良時代の後半には、貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱した。そこで、桓武天皇は、新しい都で政治を立て直そうとして、784年に都を長岡京に移し、ついで794年に都を平安京(今の京都市)に移した。そのさい、仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい、奈良にある寺が平安京に移ることを禁じた。(鳴くよ(794)ウグイス平安京) 794年から1185年に鎌倉幕府が成立するまでの約400年間を平安時代という。



平安時代初期のころ、東北地方に住む人々は異民族あつかいにされ、蝦夷と呼ばれた。朝廷はしだいに東北地方への支配を拡大していったが、これに対し蝦夷の人々は、アテルイを指導者として激しく抵抗した。桓武天皇は、797年に坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命した。801年、坂上田村麻呂は、4万人の朝廷軍を率いて胆沢地方を平定し、翌年、大きな胆沢城を造った。アテルイは、軍を率いて降伏した。



※出題頻度「貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱したため○」「長岡京△」「794年○」「桓武天皇◎」「平安京◎」「平安時代△」「坂上田村麻呂◎」「征夷大將軍◎」「蝦夷○」「アテルイ○」

【問題】

次の文章中の①～⑧に適語を入れよ。

奈良時代の後半には、貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱した。そこで、(①)天皇は、新しい都で政治を立て直そうとして、784年に都を(②)京に移し、ついで794年に都を(③)京(今の京都市)に移した。そのさい、仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい、奈良にある寺が(③)京に移ることを禁じた。794年から1185年に鎌倉幕府が成立するまでの約400年間を(③)時代という。

(③)時代初期のころ、東北地方に住む人々は異民族あつかいにされ、(④)と呼ばれた。朝廷はしだいに東北地方への支配を拡大していったが、これに対し(④)の人々は、(⑤)を指導者として激しく抵抗した。(①)天皇は、797年に(⑥)を(⑦)に任命した。801年、(⑥)は、4万人の朝廷軍を率いて(⑧)地方を平定し、翌年、大きな(⑧)城を造った。(⑤)は、軍を率いて降伏した。

【解答欄】

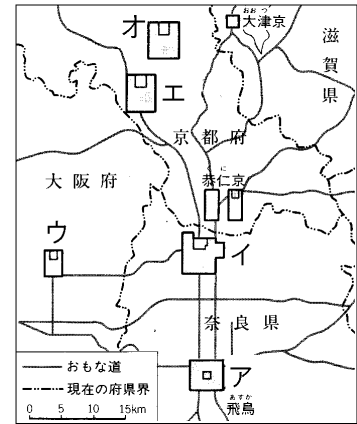
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

【解答】① 桓武 ② 長岡 ③ 平安 ④ 蝦夷 ⑤ アテルイ ⑥ 坂上田村麻呂
⑦ 征夷大將軍 ⑧ 胆沢

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 8世紀末に都が現在の京都市の位置に移されたが、①この新しい都は何と呼ばれたか。②また、その位置を右の資料中のア～オから1つ選び、記号を書け。
- (2) ①(1)に都を移した天皇は誰か。②また、それは西暦何年のことか。
- (3) (2)の天皇が(1)へ都を移した理由を「貴族や僧の争い」「政治の立て直し」という語句を使って説明せよ。
- (4) (1)が完成する10年前におかれた、未完成に終わった都を何というか。① その都の名前を答えよ。②また、その位置を右の資料中のア～オから1つ選び、記号を書け。
- (5) (1)に都を移してから約400年間続いた時代を何というか。
- (6) 東北地方に住み、律令国家の支配に対して強く抵抗を続けた人々を何というか。
- (7) 朝廷に抵抗した(6)の指導者は誰か。
- (8) 801年に、4万人の朝廷軍を率いて胆沢地方を平定し、翌年、大きな胆沢城を造り、(7)を降伏させた人物は誰か。
- (9) (8)の人物が任命されていた役職を何というか。



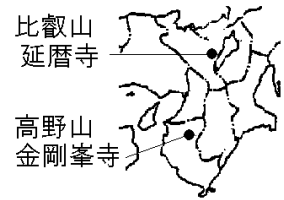
【解答欄】

(1)①	②	(2)①	②
(3)			
(4)①	②	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)	

【解答】(1)① 平安京 ② オ (2)① 桓武天皇 ② 794年 (3) 貴族や僧の争いで政治が混乱したため、新しい都で政治の立て直しをはかるため。 (4)① 長岡京 ② エ
(5) 平安時代 (6) 蝦夷 (7) アテルイ (8) 坂上田村麻呂 (9) 征夷大將軍

[要点：空海と最澄]

最澄と空海は、教典の研究を中心とする奈良仏教にあきたらず、
 仏教の本来のあり方を求めて修行を重ね、遣唐使にしたがって唐
 にわたった。帰国後、最澄は比叡山に延暦寺(滋賀県・京都府)を建
 てて天台宗を、空海は高野山に金剛峯寺(和歌山県)を建てて
 真言宗を開いた。いずれも、人里はなれた山奥の寺で学問や厳しい
 修行を行った。やがてこの新しい仏教は、貴族たちの間に広く受け入れられていった。



※出題頻度「最澄・天台宗◎」「比叡山の延暦寺○」「空海・真言宗◎」「高野山の金剛峯寺○」

[問題]

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

最澄と空海は、教典の研究を中心とする奈良仏教にあきたらず、仏教の本来のあり方を求
 めて修行を重ね、遣唐使にしたがって唐にわたった。帰国後、最澄は(①)山に(②)
 寺(滋賀県・京都府)を建てて(③)宗を、空海は(④)山に(⑤)寺(和歌山県)を建てて
 (⑥)宗を開いた。いずれも、人里はなれた山奥の寺で学問や厳しい修行を行った。やが
 てこの新しい仏教は、貴族たちの間に広く受け入れられていった。

[解答欄]

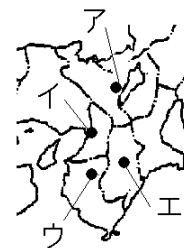
①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 比叡 ② 延暦 ③ 天台 ④ 高野 ⑤ 金剛峯 ⑥ 真言

[問題]

次の表の①～⑥に適語を入れよ。また、a、bの場所を右の
 地図のア～エから選べ。

人物(開祖)	宗派	寺院	場所
(①)	(②)宗	高野山(③)寺	a
(④)	(⑤)宗	比叡山(⑥)寺	b



[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	a	b

[解答]① 空海 ② 真言 ③ 金剛峯 ④ 最澄 ⑤ 天台 ⑥ 延暦 a ウ b ア

[要点：東アジアの変化と遣唐使の停止]

7世紀の初めに隋にかわって中国を統一した唐は、その後、発展をとげた。日本は遣唐使を通じてその文化や政治制度を取り入れた。しかし、9世紀後半には唐の勢力がおとろえ、もうそれ以上学び取るべきものは少なくなっていた。遣唐使に任命された菅原道真は、894年、唐のおとろえと往復の危険を理由に遣唐使停止の建白を出して承認された。(白紙(894)に返せ遣唐使)

中国では、唐が10世紀の初めに滅び、数十年の内乱の後、10世紀後半に宋が国内を統一した。朝鮮半島では10世紀の初めに高麗がおこり、やがて新羅をほろぼした。日本は宋や高麗とは正式な国交を結ばなかったが、両国の商人が交易を行った。



※出題頻度「菅原道真◎」「唐のおとろえと往復の危険のため○」「遣唐使の停止○」「宋○」「高麗○」

[問題]

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

7世紀の初めに隋にかわって中国を統一した(①)は、その後、発展をとげた。日本は(②)使を通じてその文化や政治制度を取り入れた。しかし、9世紀後半には①の勢力がおとろえ、もうそれ以上学び取るべきものは少なくなっていた。(②)使に任命された(③)は、894年、唐のおとろえと往復の危険を理由に(②)使停止の建白を出して承認された。

中国では、①が10世紀の初めに滅び、数十年の内乱の後、10世紀後半に(④)が国内を統一した。朝鮮半島では10世紀の初めに(⑤)がおこり、やがて新羅をほろぼした。日本は④や⑤高麗とは正式な国交を結ばなかったが、両国の商人が交易を行った。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤			

[解答]① 唐 ② 遣唐 ③ 菅原道真 ④ 宋 ⑤ 高麗

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 遣唐使が停止されたのは何年か。
- (2) 遣唐使停止の意見を出して、後に大宰府に流された人物は誰か。
- (3) 唐が滅んだ後、小国の分立を経て、中国を統一したのは何という王朝か。
- (4) 唐が滅亡した後、10世紀のはじめ朝鮮半島にたてられた国は何か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 894年 (2) 菅原道真 (3) 宋 (4) 高麗

【】 摂関政治と文化の国風化

[要点：摂関政治]

藤原氏は、娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした。

他の貴族をしりぞけて勢力をのぼした藤原氏は、9世紀後半には、天皇が幼いときは摂政、成人してからは関白の職につき、政治の実権をにぎるようになった。これを摂関政治という。藤原氏は11世紀ころ、藤原道長とその子藤原頼通の時代に全盛期を迎えた。藤原道長は4人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃とし、30年にわたって権勢をふるった。(威令広(1016)まる道長さん) 娘の一人を天皇のきさきとすることに成功したとき、自分の権勢が絶頂期にあるうれしさを「この世をばわが世とぞ思う望月の欠けたることも無しと思えば」という歌で表している。藤原氏などの貴族の栄華を支えた経済的な基盤は荘園であった。このころ、地方の政治はほとんど国司にまかせきりであったので、自分の収入を増やすことだけにはげんだり、任地に代理を送って収入だけを得たりする国司が多くなり、地方の政治は乱れた。

※出題頻度「自分の娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした◎」「摂政◎」「関白◎」「摂関政治◎」「藤原道長◎」「藤原頼通○」「荘園○」

[問題]

次の文章中の①～⑩に適語を入れよ。

藤原氏は、娘を天皇の(①)にし、その子を次の(②)に立てることで勢力をのぼした。他の貴族をしりぞけて勢力をのぼした藤原氏は、9世紀後半には、天皇が幼いときは(③)、成人してからは(④)の職につき、政治の実権をにぎるようになった。これを(⑤)政治という。藤原氏は11世紀ころ、藤原(⑥)とその子藤原(⑦)の時代に全盛期を迎えた。藤原(⑥)は4人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃とし、30年にわたって権勢をふるった。娘の一人を天皇の(①)とすることに成功したとき、自分の権勢が絶頂期にあるうれしさを「この世をばわが世とぞ思う(⑧)の欠けたることも無しと思えば」という歌で表している。藤原氏などの貴族の栄華を支えた経済的な基盤は(⑨)であった。このころ、地方の政治はほとんど(⑩)にまかせきりであったので、自分の収入を増やすことだけにはげんだり、任地に代理を送って収入だけを得たりする(⑩)が多くなり、地方の政治は乱れた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

[解答]① きさき ② 天皇 ③ 摂政 ④ 関白 ⑤ 摂関 ⑥ 道長 ⑦ 頼通 ⑧ 望月
⑨ 荘園 ⑩ 国司

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 藤原氏は、平安時代に天皇の補佐役となって実権をにぎり、政治を行った。このような政治を何というか。
- (2) 藤原氏は天皇が幼少のときは(①), 天皇が成人してからは(②)として政治を行った。
- (3) 藤原氏はどのようにして政治の実権を握ったのか, 「天皇」「娘」という言葉を使って述べよ。
- (4) ①藤原氏の摂関政治は誰親子のときが最盛期か。②また, それは何世紀か。
- (5) 藤原氏の権力を支えたのは, ぼう大な私有地だが, この私有地を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	
(3)			
(4)①	②	(5)	

- [解答](1) 摂関政治 (2)① 摂政 ② 関白 (3) 娘を天皇のきさきにし, その子を次の天皇に立てることによって政治の実権を握った。 (4)① 藤原道長, 藤原頼通 ② 11世紀 (5) 荘園

[要点：国風文化]

平安時代半ばの貴族たちは、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを国風文化という。国風文化のなかで一番重要なのは、わが国独自の仮名文字が発明されたことである。それまで、文章は漢字を用いて漢文で書くか、万葉仮名のように漢字の音を借用して書き表すよりほかなかった。しかし、平安時代半ばに、漢字の一部をとって片仮名が作られ、万葉仮名に使われた漢字のくずし字から平仮名が作られた。平仮名はおもに女性の間で使われた。仮名文字は、それまでの漢文と違って、細やかな感情をそのまま書き表すことを容易にし、文学の発達をもたらした。小説では紫式部の源氏物語、随筆では清少納言の枕草子が名高い。和歌の分野では、紀貫之が編集した古今和歌集がある。

貴族は、美しい自然を庭園に取り入れた寝殿造の邸宅に住んだ。絵画にも日本の風景や人物がえがかれるようになり、大和絵と呼ばれた。

- ※出題頻度「国風文化◎」「仮名文字◎」「片仮名○」「平仮名○」「源氏物語・紫式部◎」「枕草子・清少納言○」「古今和歌集○」「紀貫之△」「寝殿造○」「大和絵△」

【問題】

次の文章中の①～⑩に適語を入れよ。

平安時代半ばの貴族たちは、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを(①)文化という。(①)文化のなかで一番重要なのは、わが国独自の(②)文字が発明されたことである。それまで、文章は漢字を用いて漢文で書くか、万葉仮名のように漢字の音を借用して書き表すよりほかなかった。しかし、平安時代半ばに、漢字の一部をとって(③)が作られ、万葉仮名に使われた漢字のくずし字から(④)が作られた。(④)はおもに女性の間で使われた。(②)文字は、それまでの漢文と違って、細やかな(⑤)をそのまま書き表すことを容易にし、文学の発達をもたらした。小説では(⑥)の源氏物語、随筆では(⑦)の枕草子が名高い。和歌の分野では、紀貫之が編集した(⑧)がある。

貴族は、美しい自然を庭園に取り入れた(⑨)造の邸宅に住んだ。絵画にも日本の風景や人物がえがかれるようになり、(⑩)絵と呼ばれた。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

【解答】① 国風 ② 仮名 ③ 片仮名 ④ 平仮名 ⑤ 感情 ⑥ 紫式部 ⑦ 清少納言
⑧ 古今和歌集 ⑨ 寝殿 ⑩ 大和

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 平安時代半ば、わが国独自の文化が栄えた。この文化を何というか。
- (2) 漢字の一部をとって作られた文字を何というか。
- (3) 漢字のくずし字から作られた文字を何というか。
- (4) (2)と(3)をあわせて何というか。
- (5) 平安時代に入って女性によってすぐれた文学作品がつけられた理由を説明せよ。
- (6) ①平安時代の代表的随筆は何か。②また、その作者は誰か。
- (7) ①平安時代の代表的小説は何か。②またその作者は誰か。
- (8) ①平安時代の代表的和歌集は何か。②また、その編者は誰か。
- (9) 貴族の住居は、美しい日本の自然を取り入れたものになったが、この様式を何というか。
- (10)唐風の絵画にかわり、日本の自然や風俗を描いた絵画を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			
(6)①	②	(7)①	②
(8)①	②	(9)	(10)

[解答](1) 国風文化 (2) 片仮名 (3) 平仮名 (4) 仮名文字 (5) 仮名文字の発明によってこまやかな感情を書き表すことができるようになったから。 (6)① 枕草子 ② 清少納言 (7)① 源氏物語 ② 紫式部 (8)① 古今和歌集 ② 紀貫之 (9) 寝殿造 (10) 大和絵

[要点：浄土信仰]

平安時代中ごろ、盗賊とうぞくの横行おうこうなど社会が乱れた。このころ、シャカの死後 2000 年から末法まっぽうの世になるという末法思想が広まり、阿弥陀如来あみだにょらいにすがって念仏ねんぶつを唱えれば極楽浄土ごくらくじょうどに生まれ変わることができるという浄土信仰じょうどしんこうが、不安をつのらせた貴族きぶつや庶民しよみんの心をとらえた。

藤原ふじわらの頼通よりみちは、この世に極楽浄土のようすを表そうとして、
 宇治うじ(現在の京都府宇治市)に寝殿造しんでんづくりの平等院鳳凰堂びやうどういんほうおうどう(右
 図)を建てた。また、奥州藤原氏ひらいずみは平泉ちゅうそんに中尊寺金色堂こんじきどうを
 建てた。

(平等院鳳凰堂)



※出題頻度「浄土信仰○」「平等院鳳凰堂◎」「藤原頼通△」「中尊寺金色堂△」

[問題]

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

平安時代中ごろ、盗賊の横行など社会が乱れた。このころ、シャカの死後 2000 年から末法の世になるという末法思想が広まり、阿弥陀如来にすがって念仏を唱えれば極楽浄土に生まれ変わることができるという(①)信仰が、不安をつのらせた貴族や庶民の心をとらえた。藤原(②)は、この世に極楽浄土のようすを表そうとして、宇治(現在の京都府宇治市)に寝殿造の(③)を建てた。また、奥州藤原氏は平泉に(④)を建てた。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 浄土 ② 頼通 ③ 平等院鳳凰堂 ④ 中尊寺金色堂

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 阿弥陀仏にすがって極楽浄土に生まれ変わろうという信仰は何か。
- (2) (1)の信仰の影響を受けてつくられた宇治にある右図の建築物は何か。
- (3) (2)をつくったのは誰か。
- (4) 奥州藤原氏が建てた東北地方の平泉にある阿弥陀堂を何というか。



[解答欄]

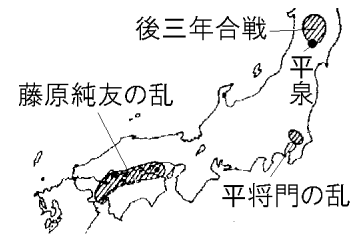
(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 浄土信仰 (2) 平等院鳳凰堂 (3) 藤原頼通 (4) 中尊寺金色堂

【】 武士の登場・院政・平清盛

[要点：武士の発生]

10世紀になると、武士が生まれ、やがて源氏と平氏などの武士団が成長した。10世紀の半ば、東西で武士の反乱が起こった。関東では、935年に平将門が国の役所を襲い、自ら新皇(新しい天皇)と名のり、一時期、関東地方の大半を支配した。(組み込む(935)大軍平将門の乱) また、瀬戸内では藤原純友が海賊を率いて、国の役所や大宰府をおそった。朝廷は、他の武士団の力をかりてこの2つの反乱をようやくしずめることができた。



東北では、蝦夷の子孫である阿倍氏や清原氏が力をのぼしていたが、11世紀の後半に、かれらの勢力争いで前九年合戦・後三年合戦が起こった。朝廷から派遣された源義家が、関東の武士を率いてこれをしずめたので、源氏の武士団は東日本で大きな勢力となっていくた。後三年合戦以降、陸奥・出羽地方を支配したのは奥州藤原氏であった。奥州藤原氏は、平泉を根拠地として栄え、浄土信仰の影響を受けた中尊寺金色堂を建てた。武士は、開発した領地を寄進して貴族や寺社の荘園とし、自分は荘官となって勢力を築いた。

※出題頻度「武士団△」「平将門◎」「藤原純友○」「前九年合戦・後三年合戦△」「源義家△」「奥州藤原氏△」

[問題]

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

10世紀になると、武士が生まれ、やがて源氏と平氏などの(①)が成長した。10世紀の半ば、東西で武士の反乱が起こった。関東では、935年に(②)が国の役所を襲い、自ら新皇(新しい天皇)と名のり、一時期、関東地方の大半を支配した。また、瀬戸内では(③)が海賊を率いて、国の役所や大宰府をおそった。朝廷は、他の武士団の力をかりてこの2つの反乱をようやくしずめることができた。

東北では、蝦夷の子孫である阿倍氏や清原氏が力をのぼしていたが、11世紀の後半に、かれらの勢力争いで前九年合戦・(④)合戦が起こった。朝廷から派遣された(⑤)が、関東の武士を率いてこれをしずめたので、源氏の(①)は東日本で大きな勢力となっていくた。(④)合戦以降、陸奥・出羽地方を支配したのは(⑥)氏であった。(⑥)氏は、平泉を根拠地として栄え、浄土信仰の影響を受けた中尊寺金色堂を建てた。武士は、開発した領地を寄進して貴族や寺社の(⑦)とし、自分は荘官となって勢力を築いた。

[解答欄]

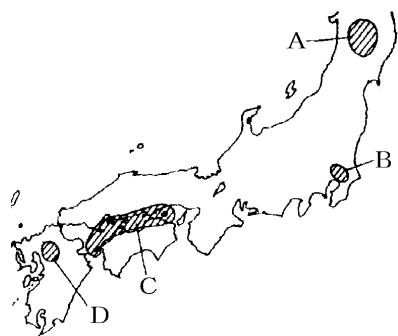
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 武士団 ② 平将門 ③ 藤原純友 ④ 後三年 ⑤ 源義家 ⑥ 奥州藤原
⑦ 荘園

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 豪族や武官の交流の中からおこった武士が従者を組織してつくりあげたものは何か。
- (2) (1)の中でも有力になったのは何氏と何氏か。
- (3) ①10世紀の中ごろ、反乱をおこし、自ら新皇(新しい天皇)と名乗ったのは誰か。②また、その場所は右の地図のA~Dのどこか。
- (4) ①10世紀の中ごろ、海賊を率いて反乱をおこしたのは誰か。②また、その場所は地図のA~Dのどこか。
- (5) 前九年合戦・後三年合戦がおこったのは地図のA~Dのどこか。
- (6) 安倍氏や清原氏にかわって勢力をのぼし、砂金や馬の売買で築いた富をもとに東北地方の統一をすすめたのは何氏か。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
(4)①	②	(5)	(6)

[解答](1) 武士団 (2) 源氏と平氏 (3)① 平将門 ② B (4)① 藤原純友 ② C (5) A
(6) 奥州藤原氏

[要点：院政と武士]

1068年に藤原氏との関係がうすい後三条天皇が即位し、荘園の整理などを行った。その後を継いだ白河天皇は、1086年に位を幼い皇子にゆずって上皇になってからも政治の実権をにぎり、摂政・関白をおさえて院政を行った。1156年、天皇と上皇の対立に藤原氏一族の争いが結びついて保元の乱が起きた(いいころ(1156)に起こった保元の乱)。その結果、天皇方について平清盛と源義朝が勢力を強めた。しかし、この2人は対立を深め、1159年、源義朝が平清盛を討とうとして敗れた。これを平治の乱という。戦いに勝った平清盛は、1167年、武士としてはじめて太政大臣となり政治の実権をにぎった。(いちいち無理な(1167)清盛さん) 平清盛は、兵庫の港を整備して、中国の宋との貿易を行った。清盛は、娘を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。平氏一族で高い官職を独占し、多くの公領や荘園を支配した。そのやり方は貴族とかわらないものであったため、貴族や寺社の反感をかい、地方の武士の中にも不満をいだく者が増えた。



※出題頻度「後三条天皇△」「白河天皇○」「上皇○」「院政◎」「保元の乱○」「平治の乱○」「平清盛◎」「太政大臣○」「宋との貿易○」「兵庫の港△」

[問題]

次の文章中の①～⑪に適語を入れよ。

1068年に藤原氏との関係がうすい(①)天皇が即位し、荘園の整理などを行った。その後を継いだ(②)天皇は、1086年に位を幼い皇子にゆずって(③)になってからも政治の実権をにぎり、摂政・関白をおさえて(④)政を行った。

1156年、天皇と(③)の対立に藤原氏一族の争いが結びついて(⑤)の乱が起きた。その結果、天皇方について(⑥)と源義朝が勢力を強めた。しかし、この2人は対立を深め、1159年、源義朝が(⑥)を討とうとして敗れた。これを(⑦)の乱という。戦いに勝った(⑥)は、1167年、武士としてはじめて(⑧)となり政治の実権をにぎった。

(⑥)は、(⑨)の港を整備して、中国の(⑩)との貿易を行った。(⑥)は、娘を天皇の(⑪)とし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。平氏一族で高い官職を独占し、多くの公領や荘園を支配した。そのやり方は貴族とかわらないものであったため、貴族や寺社の反感をかい、地方の武士の中にも不満をいだく者が増えた。

[解答欄]

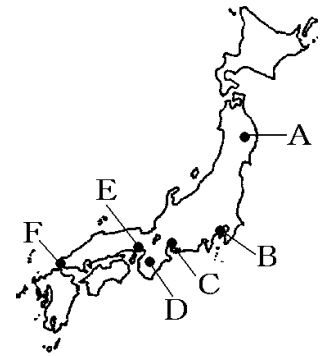
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	

[解答]① 後三条 ② 白河 ③ 上皇 ④ 院 ⑤ 保元 ⑥ 平清盛 ⑦ 平治 ⑧ 太政大臣 ⑨ 兵庫 ⑩ 宋 ⑪ きさき

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 天皇の位をゆずった上皇が実権をにぎって行う政治を何というか。
- (2) (1)の政治を最初に始めた上皇はだれか。
- (3) 1156年、天皇と上皇の対立に藤原氏一族の争いが結びついて起きた争いを何というか。
- (4) (3)の乱で勝利した天皇方に協力した①源氏と②平氏の棟梁は誰か。それぞれ答えよ。
- (5) (4)の源氏と平氏の棟梁同士の対立と、藤原氏一族の対立から1159年に起こった争いを何の乱というか。
- (6) (5)の乱に勝利した武士の棟梁は誰か。
- (7) (6)の人物が、1167年に武士として初めて任命された朝廷の役職は何か。
- (8) (6)の人物は、中国の何という王朝と貿易を行ったか。
- (9) (6)の人物が、(8)との貿易を行うために整備した港はどこか。
- (10) (9)の港の位置を地図中のA～Fから1つ選べ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)①
②	(5)	(6)	(7)
(8)	(9)	(10)	

[解答](1) 院政 (2) 白河上皇 (3) 保元の乱 (4)① 源義朝 ② 平清盛 (5) 平治の乱
 (6) 平清盛 (7) 太政大臣 (8) 宋 (9) 兵庫 (10) E

【FdText 製品版のご案内】

※ このファイルは、FdText 社会(9,600 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdText 理科は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※ FdText(理科・社会・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は <http://www.fdtype.com/txt/> に掲載しております。

弊社は、FdText のほかに、

FdData 中間期末過去問(数学・理科・社会)(各 18,900 円) <http://www.fdtype.com/dat/>

FdData 入試過去問(数学・理科・社会)(各 16,200 円) <http://www.fdtype.com/dan/>
を販売しております。

【Fd 教材開発】 (092) 811-0960